様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 4年 6月 27日

福岡市長 髙島 宗一郎 殿

提出者
住 所 福岡県福岡市博多区博多駅南5丁目10-13
氏 名 株式会社 旭工務店
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
代表取締役 吉弘 真二
電話番号 092-431-4131(代表)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 旭工務店
事業場の所在地	福岡県福岡市博多区博多駅南5丁目10-13
計画期間	令和 4年 4月 1日 ～ 令和 5年 3月 31日

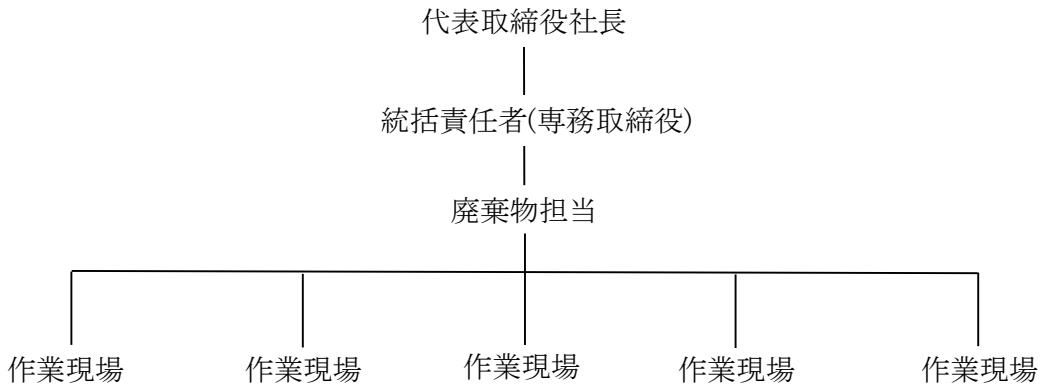
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	D-06 総合工事業
②事業の規模	令和 元度 完工高 108億円
③従業員数	総数(取締役、正社員) 91名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	建設工事現場 産業廃棄物発生 → 委託 中間処理施設 → 再生利用 / 最終処分

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 3年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙の通り	
排　出　量	12,987.144 t	t

（これまでに実施した取組）

・できる限り分別を行い、排出する。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙の通り	
排　出　量	12,660.000 t	t

（今後実施する予定の取組）

・必要最小限の材料手配に努力する。

・リサイクル率の高い業者への委託を検討する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

1、コンクリートガラ、2、アスファルトガラ、3、木くず、4、石膏ボード

5、紙くず、6、金属くず

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

有価物との選別を合わせた減量化

（第3面）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　令和　3年度　）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>0.000　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>0.000　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　令和　3年度　）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>0.000　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>0.000　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>なし</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>0.000　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>0.000　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 令和 3年度 ）実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.000 t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.000 t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 令和 3年度 ）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	12,987.144 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	6,304.100 t	t
	再生利用業者への処理委託量	8,640.369 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t	t
	（これまでに実施した取組） ・コンクリートガラ、アスファルトガラ、木くずは最終的に100%リサイクル済み		

<table>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>別紙の通り</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>12,660.00　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>6,160.00　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処 理 委 託 量</td><td>8,700.00　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0.00　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0.00　t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

・リサイクル率の増大の為、分別を努力する。

・必要最小限の材料手配に努力する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書(第2面～第5面)別紙

単位:トン(t)

①現状 【前年度(令和 3 年度)実績】 ②計画【目標】		産業廃棄物の種類															排出量合計
		コンクリートがら	アスファルトがら	がれき類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず	汚泥	廃石膏ボード	混合廃棄物(管理型含む)	混合廃棄物(安定型のみ)	水銀含有物(蛍光灯)	石綿含有(ガラスくず)	特管産廃(廃石綿)	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																	
①現状	排出量	2,202.355	683.470	218.264	32.000	472.700	188.070	207.516	30.088	8,318.596	220.315	402.788	2.080	0.002	8.000	0.900	12,987.144
②計画	排出量	2,150.000	660.000	210.000	30.000	460.000	180.000	200.000	20.000	8,150.000	210.000	390.000	0.000	0.000	0.000	0.000	12,660.000
①現状	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
②計画	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																	
①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項																	
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
②計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
産業廃棄物の処理の委託に関する事項																	
①現状	全処理委託量	2,202.355	683.470	218.264	32.000	472.700	188.070	207.516	30.088	8,318.596	220.315	402.788	2.080	0.002	8.000	0.900	12,987.144
	優良認定処理業者への処理委託量	2,175.095	518.580	157.788	31.000	77.000	12.570	112.266	8.588	2,727.956	116.655	364.520	2.080	0.002	0.000	0.000	6,304.100
	再生利用業者への処理委託量	2,202.355	683.470	157.788	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	5,596.756	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	8,640.369
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
②計画	全処理委託量	2,150.000	660.000	210.000	30.000	460.000	180.000	200.000	20.000	8,150.000	210.000	390.000	0.000	0.000	0.000	0.000	12,660.000
	優良認定処理業者への処理委託量	2,100.000	500.000	150.000	30.000	100.000	10.000	110.000	10.000	2,700.000	100.000	350.000	0.000	0.000	0.000	0.000	6,160.000
	再生利用業者への処理委託量	2,150.000	660.000	70.000	0.000	0.000	0.000	200.000	20.000	5,500.000	100.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	8,700.000
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和4年6月27日

福岡市長　髙島　宗一郎　殿

提出者
住　所　　福岡県福岡市博多区博多駅南5丁目10-13
氏　名　　株式会社　旭工務店
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
代表取締役　吉弘　真二
電話番号　092-431-4131(代表)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 3 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社　旭工務店
事業場の所在地	福岡県福岡市博多区博多駅南5丁目10-13
事業の種類	D-06　総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和 3年 4月　1日 ～ 令和 4年 3月 31日

産業廃棄物処理計画における目標値

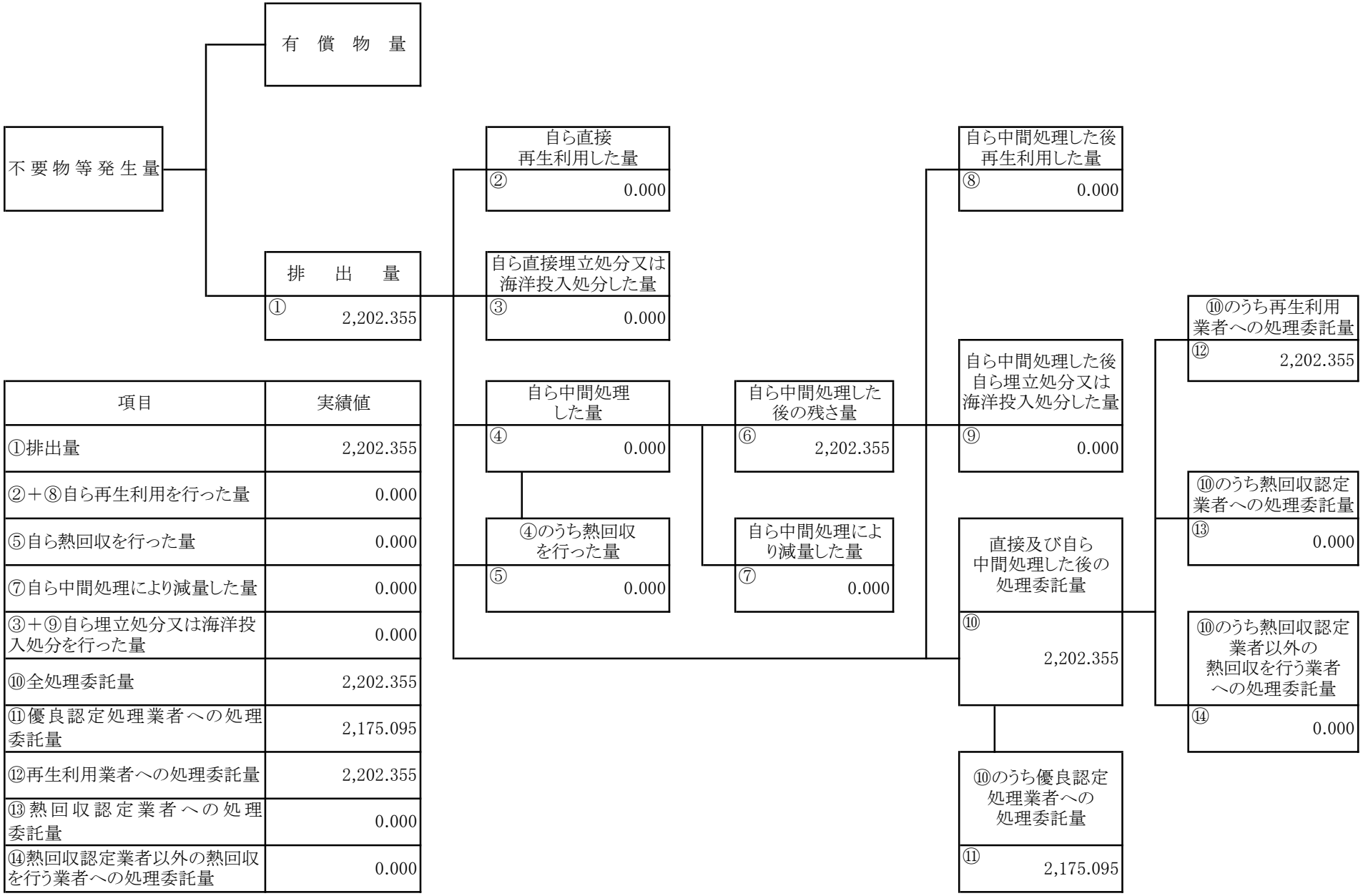
項目	目標値	項目	目標値
排出量	6,700 t	全処理委託量	6,700 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	2,830 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	2,700 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

※事務処理欄

(日本工業規格　A列4番)

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：コンクリートがら　　）

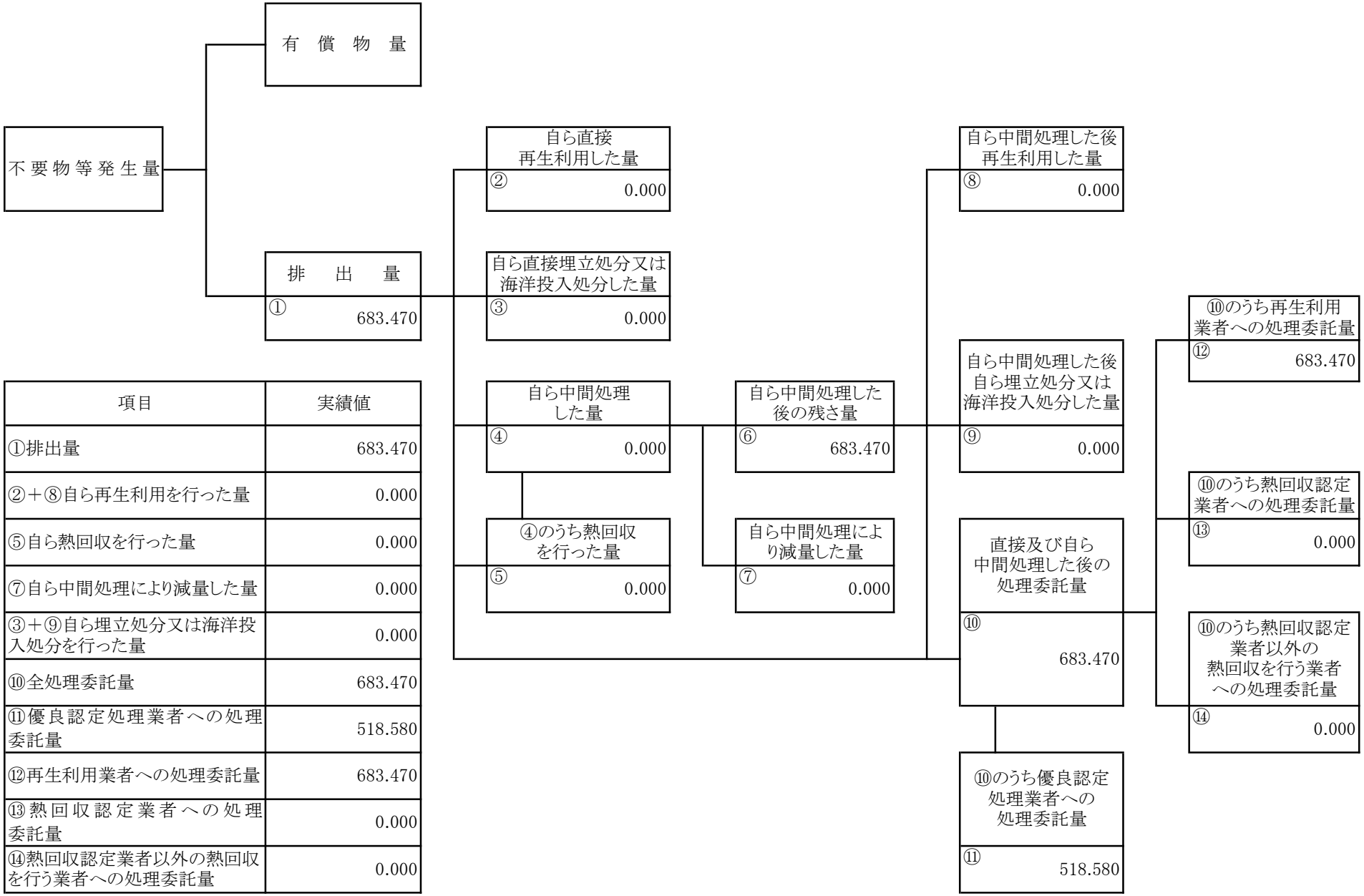


項目	実績値
①排出量	2,202.355
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	2,202.355
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2,175.095
⑫再生利用業者への処理委託量	2,202.355
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：アスコンがら　　）

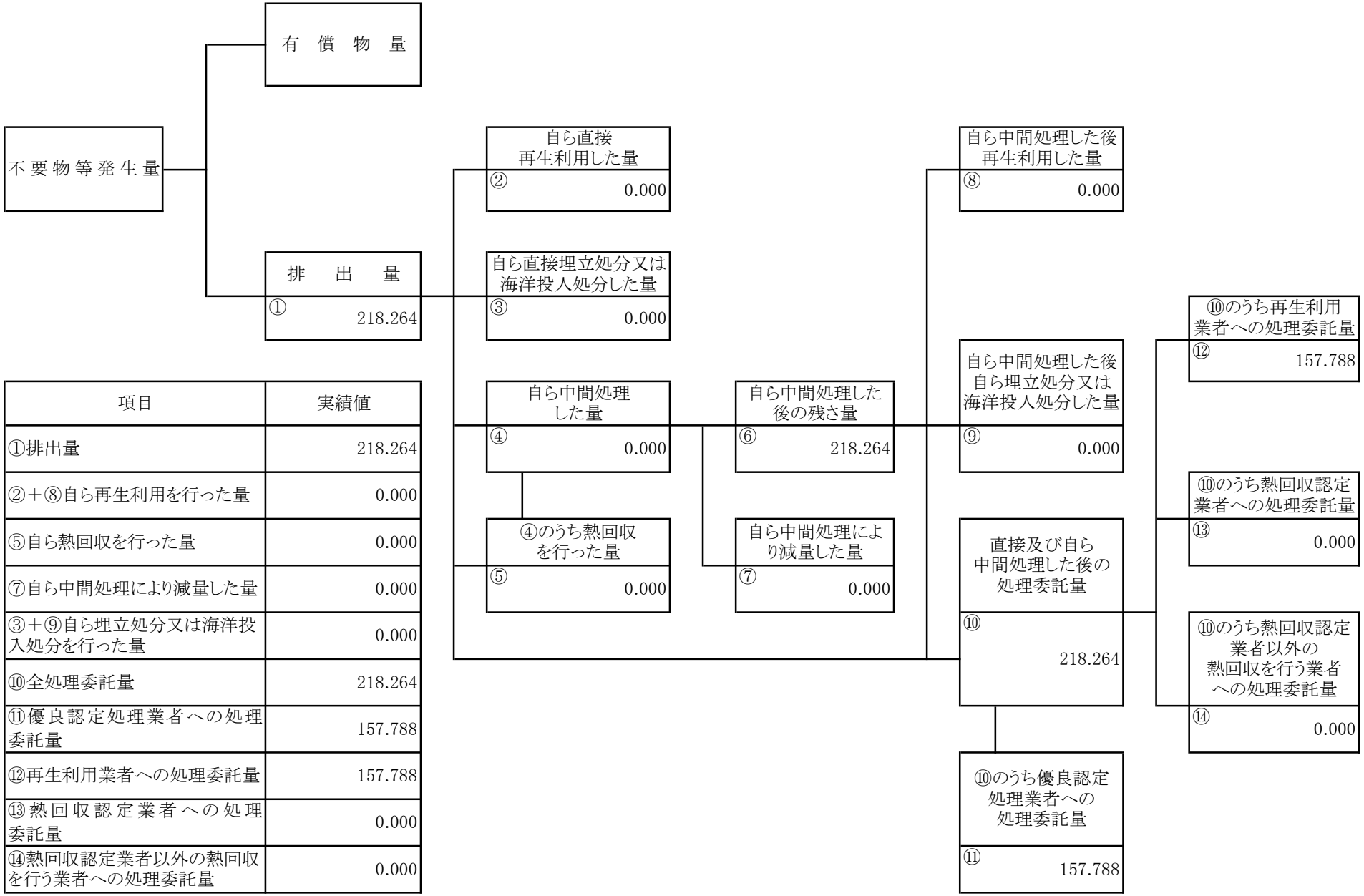


項目	実績値
①排出量	683.470
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	683.470
⑪優良認定処理業者への処理委託量	518.580
⑫再生利用業者への処理委託量	683.470
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：その他がれき類　　）

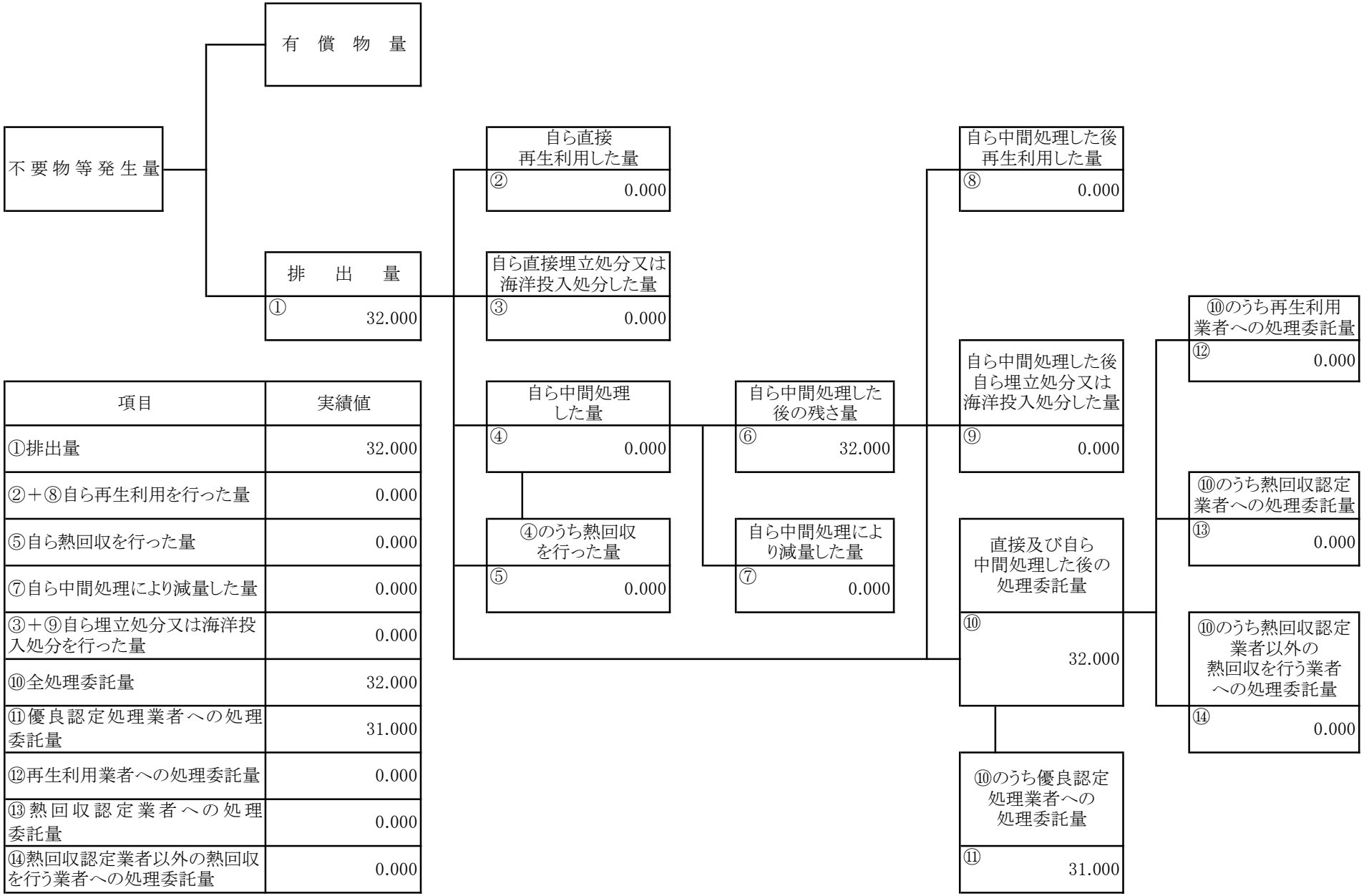


項目	実績値
①排出量	218.264
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	218.264
⑪優良認定処理業者への処理委託量	157.788
⑫再生利用業者への処理委託量	157.788
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器くず　　）

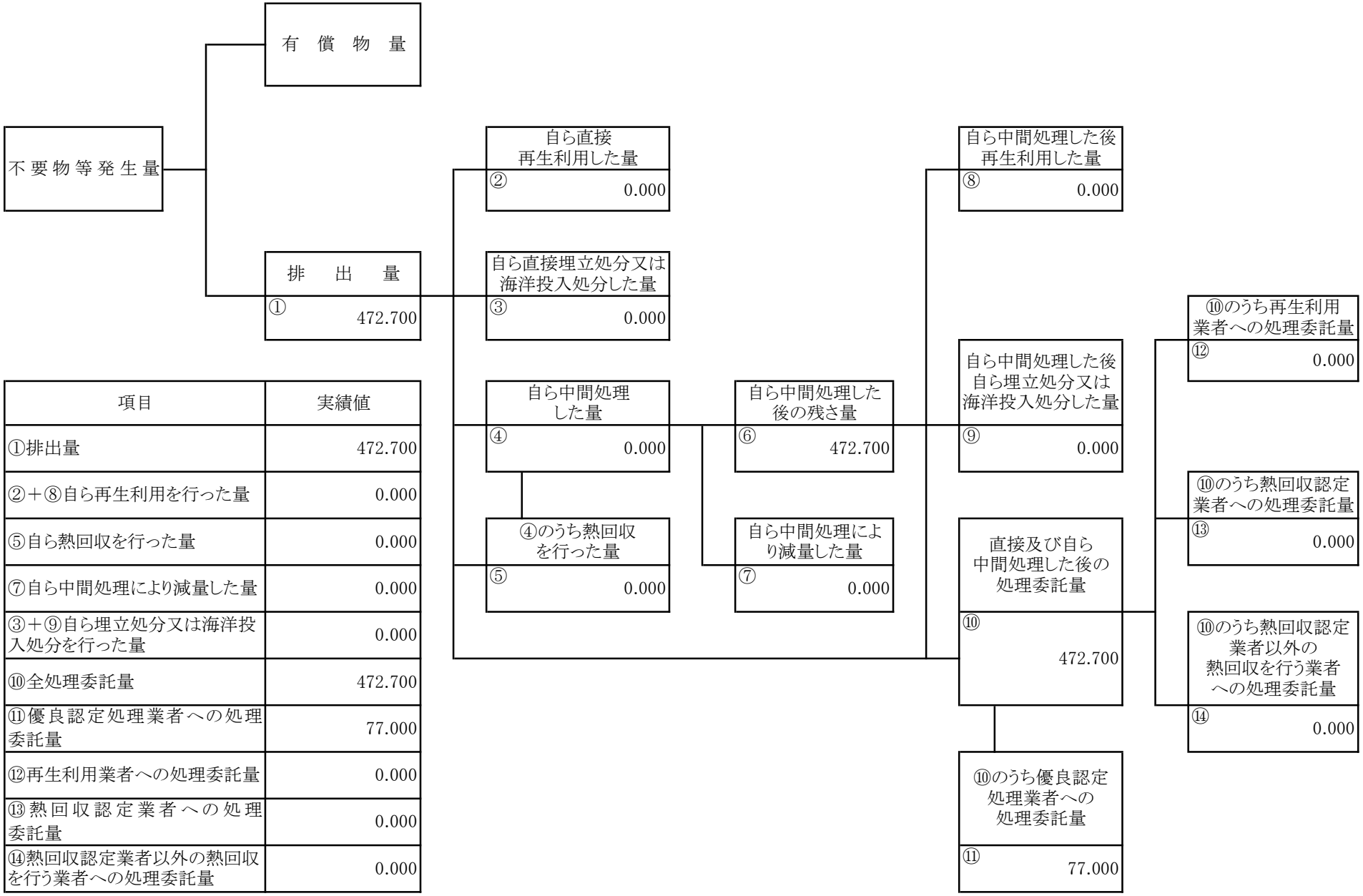


項目	実績値
①排出量	32.000
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	32.000
⑪優良認定処理業者への処理委託量	31.000
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：廃プラスチック類　　）

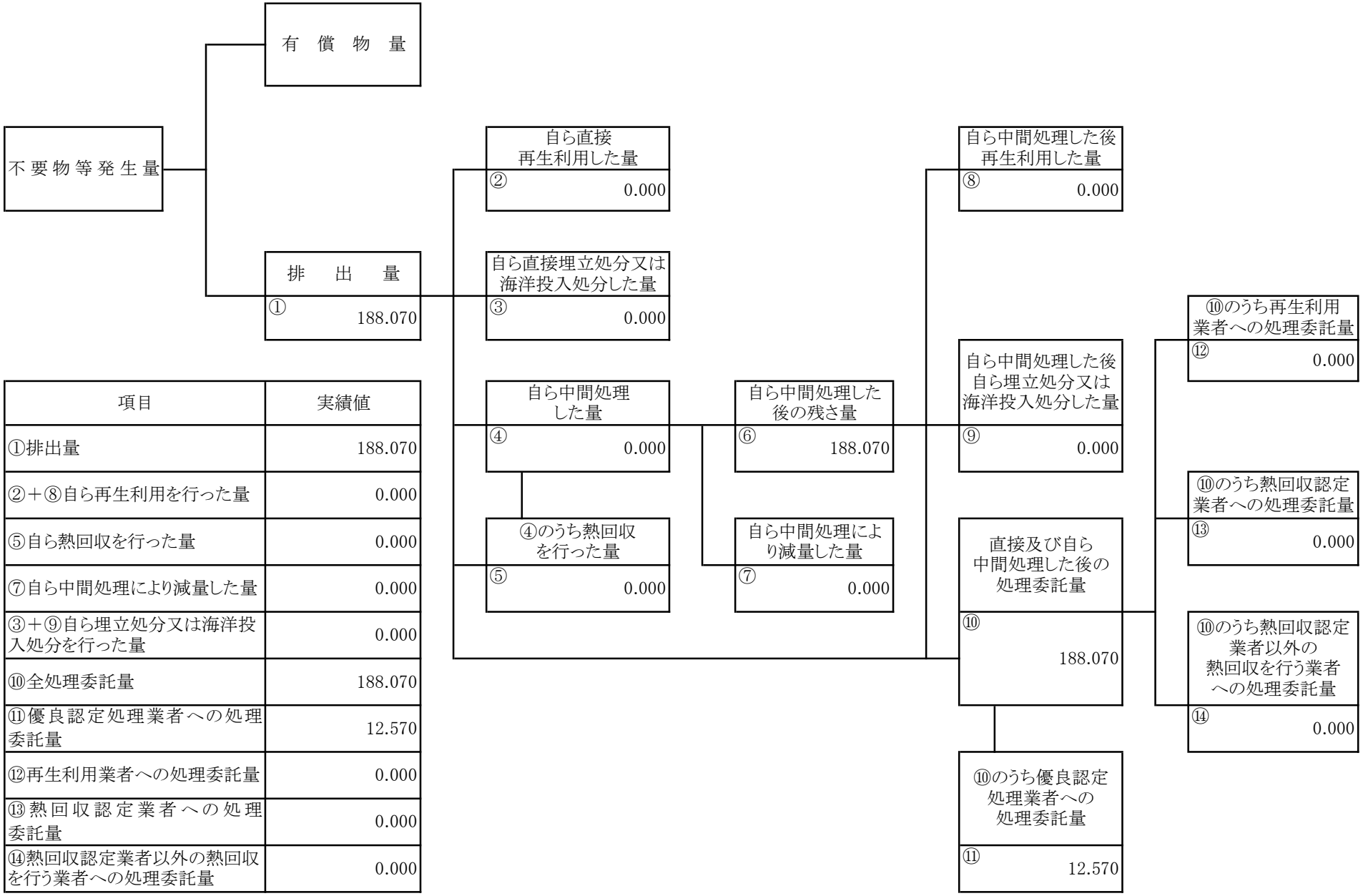


項目	実績値
①排出量	472.700
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	472.700
⑪優良認定処理業者への処理委託量	77.000
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：紙くず　　）

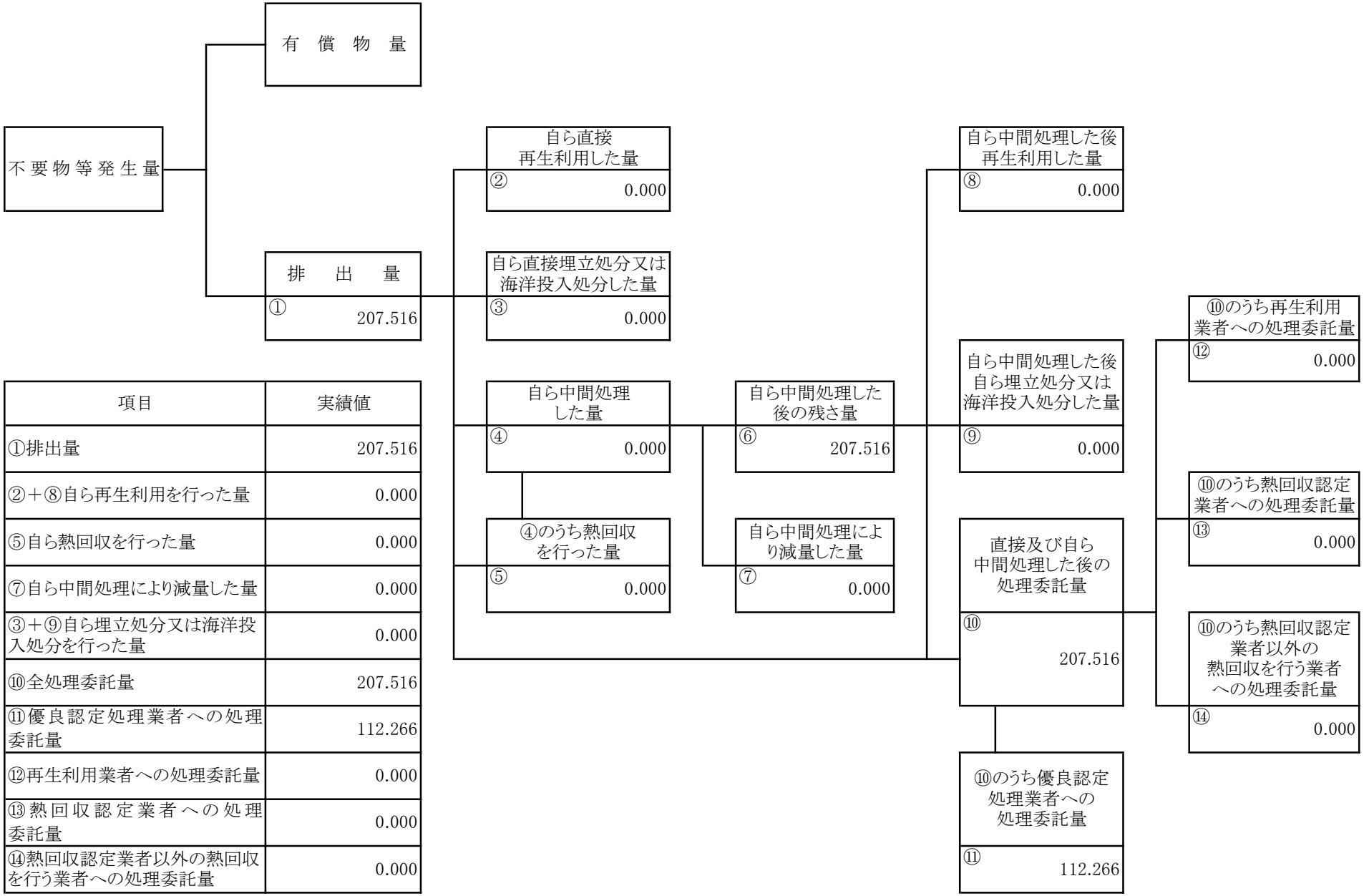


項目	実績値
①排出量	188.070
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	188.070
⑪優良認定処理業者への処理委託量	12.570
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：木くず　　）

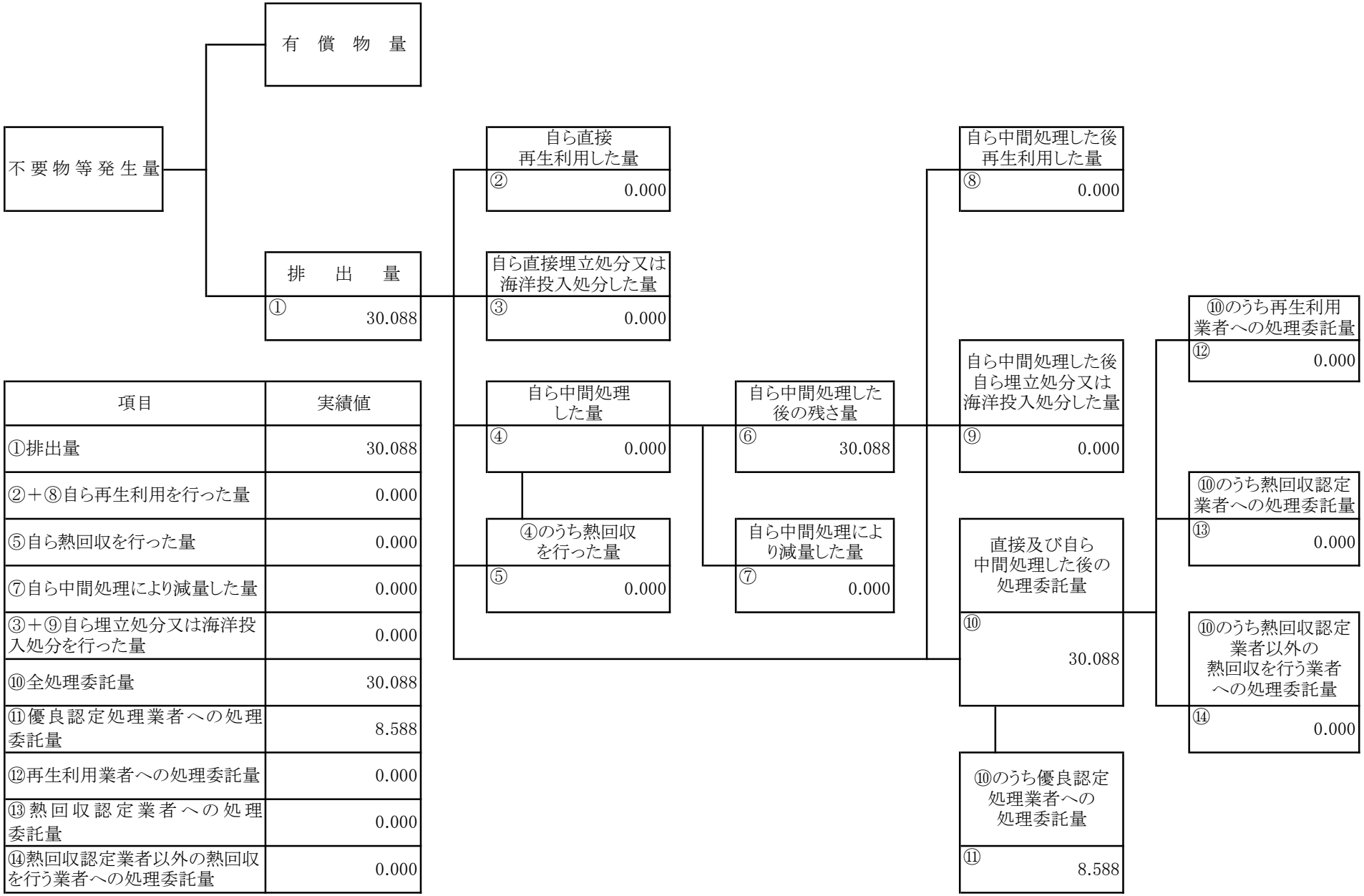


項目	実績値
①排出量	207.516
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	207.516
⑪優良認定処理業者への処理委託量	112.266
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：金属くず　　）

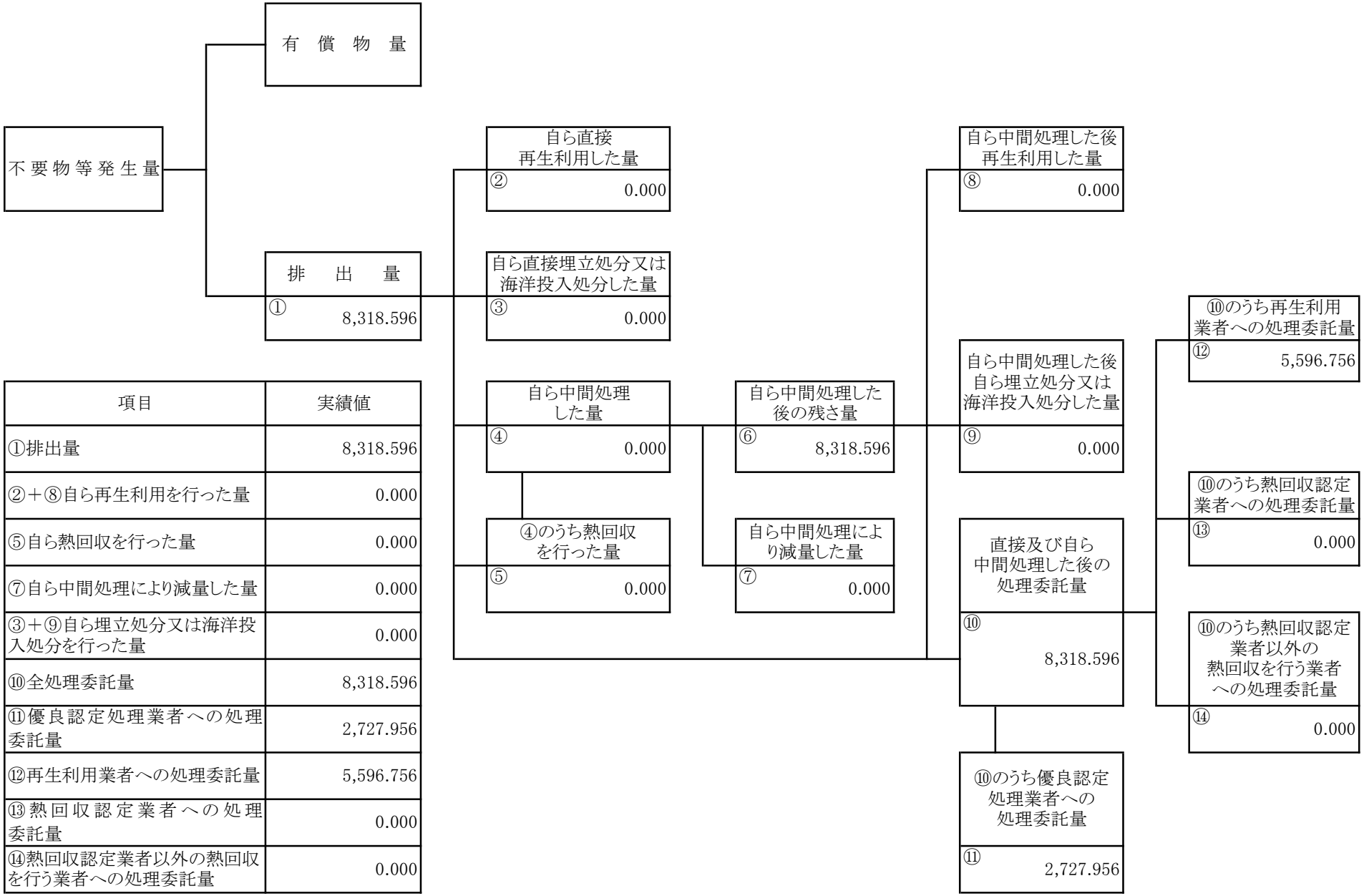


項目	実績値
①排出量	30.088
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	30.088
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.588
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：建設汚泥　　）

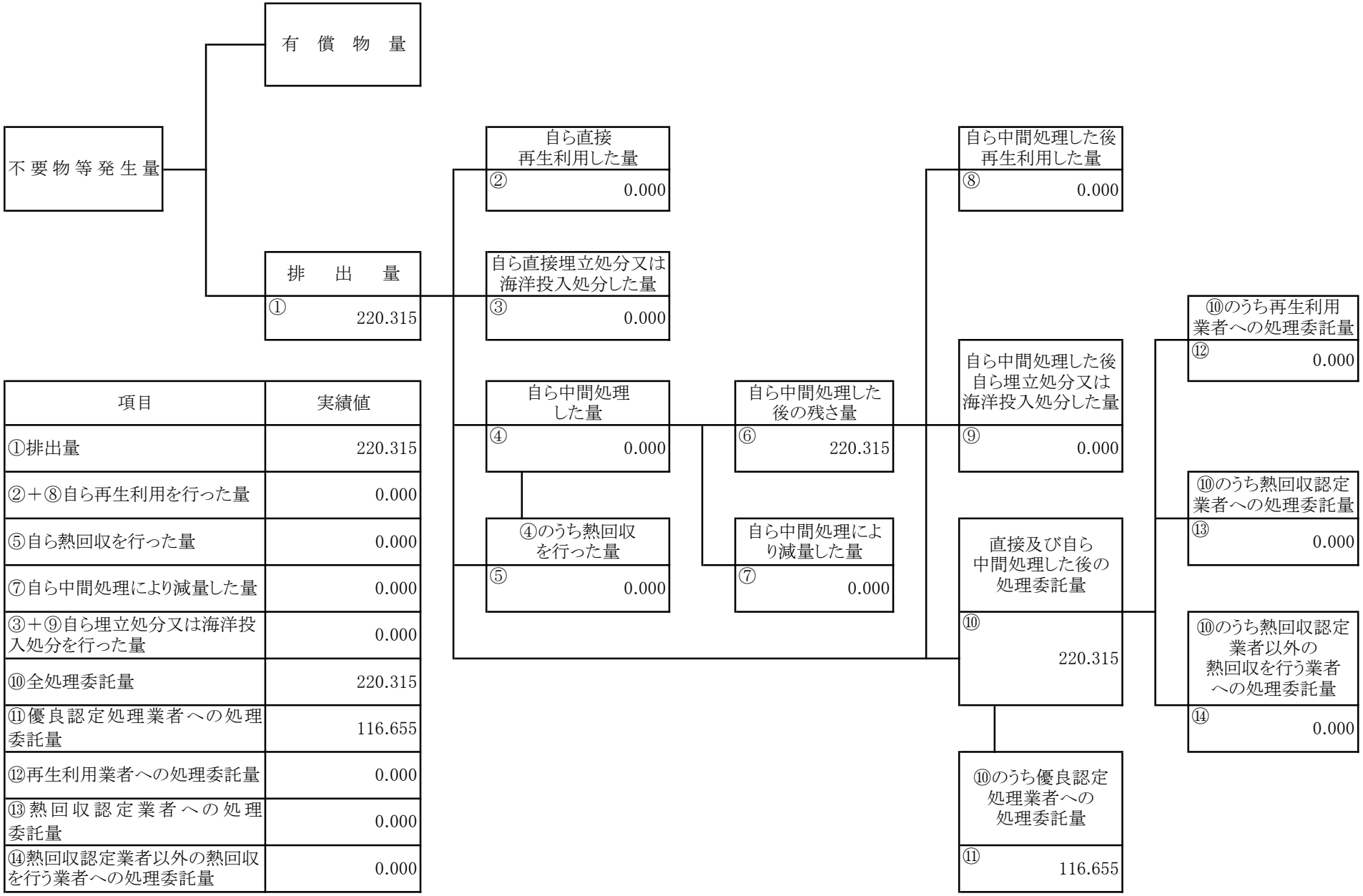


項目	実績値
①排出量	8,318.596
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	8,318.596
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2,727.956
⑫再生利用業者への処理委託量	5,596.756
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：廃石膏ボード　　）

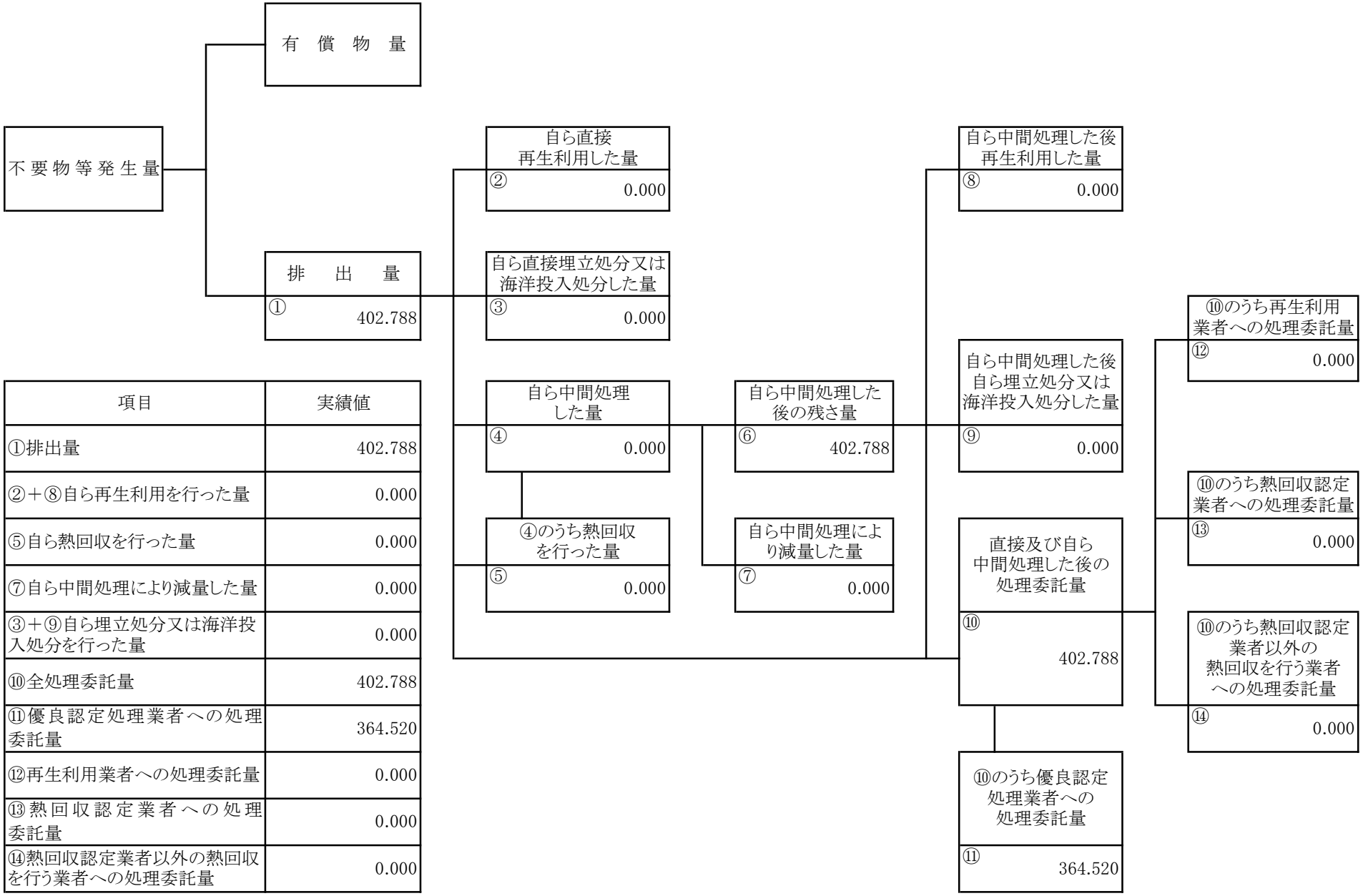


項目	実績値
①排出量	220.315
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	220.315
⑪優良認定処理業者への処理委託量	116.655
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：管理型建設混合廃棄物　　）

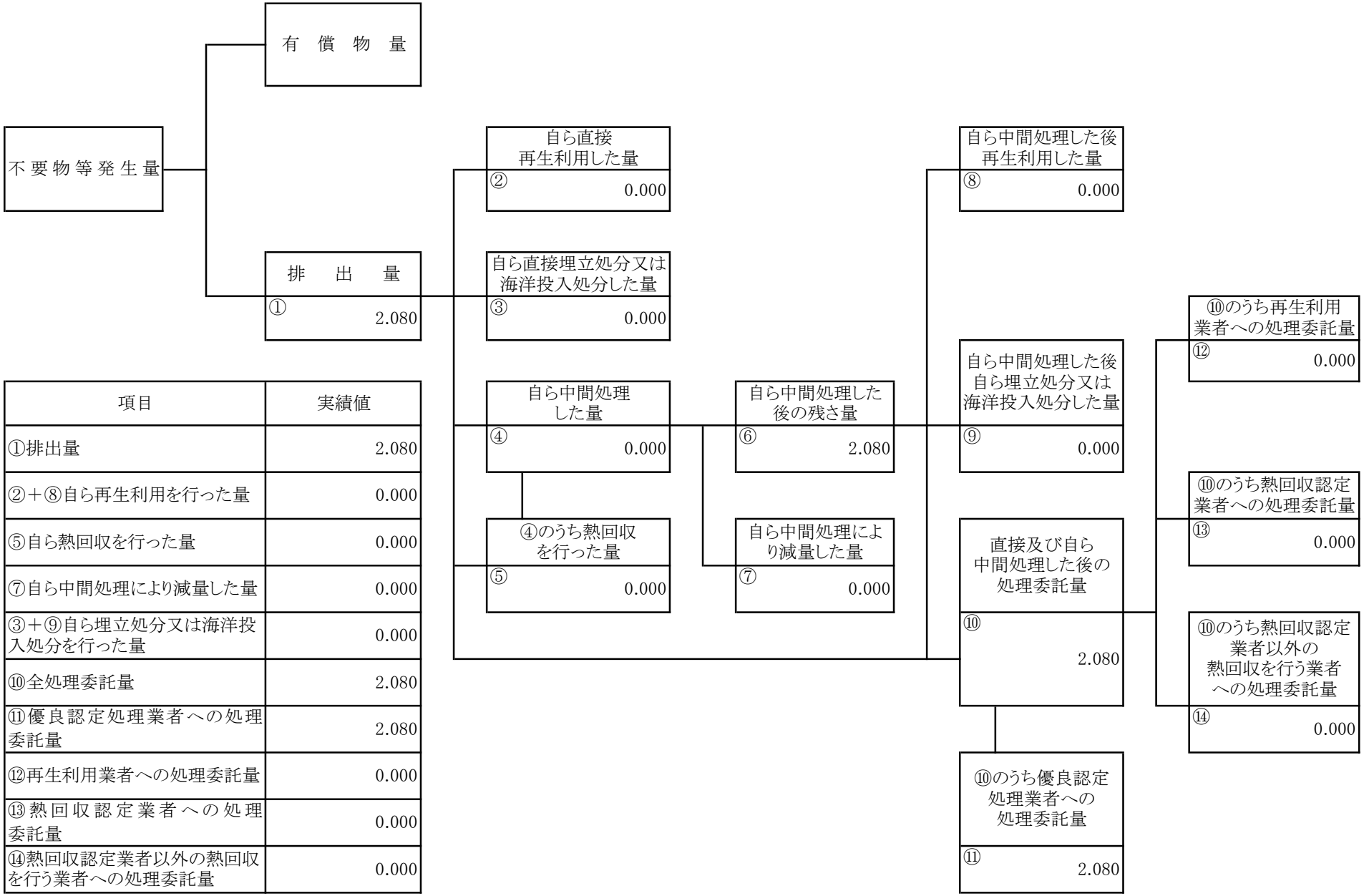


項目	実績値
①排出量	402.788
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	402.788
⑪優良認定処理業者への処理委託量	364.520
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：安定型建設混合廃棄物　　）

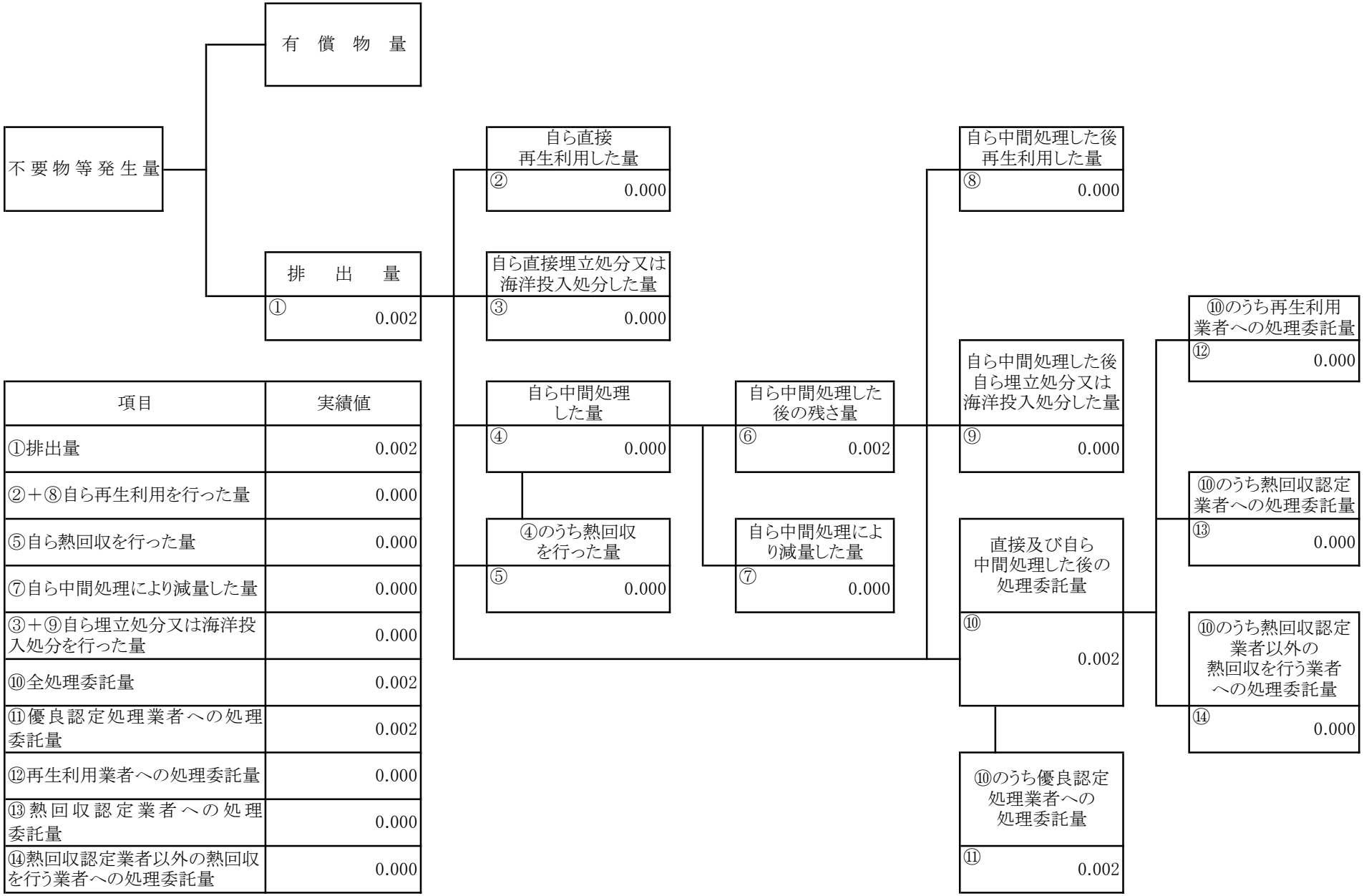


項目	実績値
①排出量	2.080
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	2.080
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.080
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：水銀使用廃照明機器（蛍光灯）　）

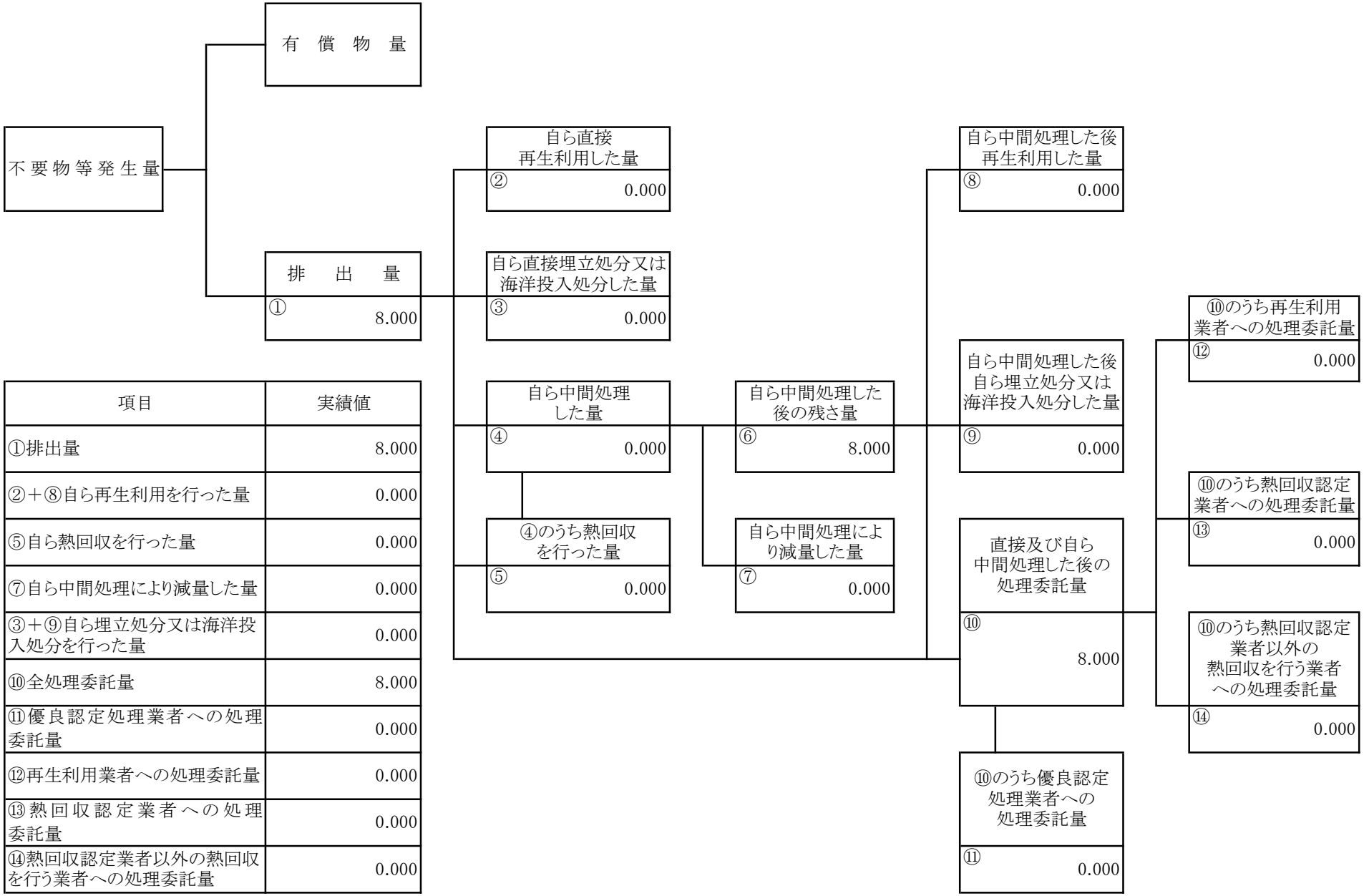


項目	実績値
①排出量	0.002
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	0.002
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.002
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器くず（石綿含有）　　）

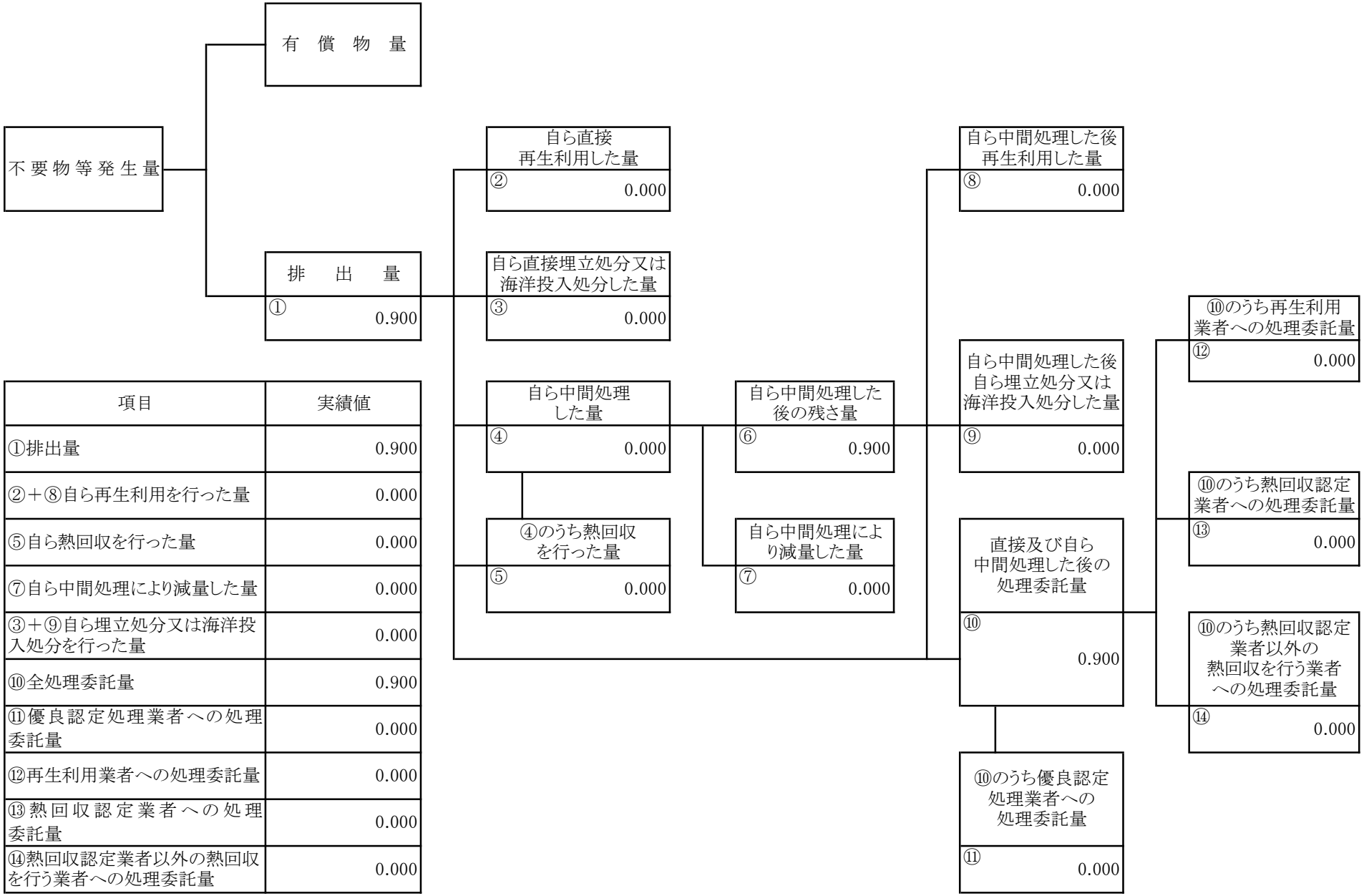


項目	実績値
①排出量	8.000
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	8.000
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：廃石綿（特別管理）　　）



項目	実績値
①排出量	0.900
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	0.900
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。